

大阪都市計画道路 天王寺大和川線 (阿倍野区天王寺町南1丁目～文の里4丁目)

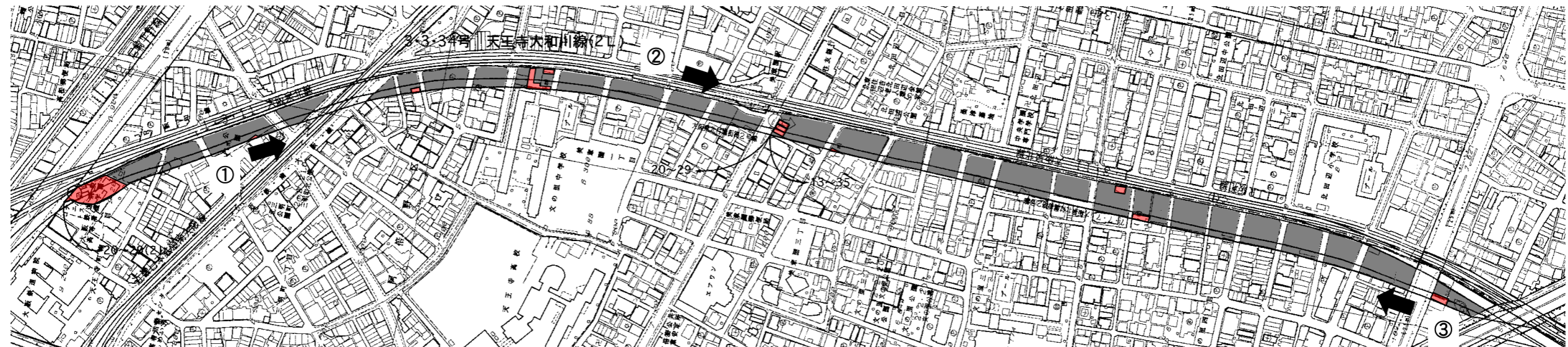
①


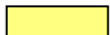



②



③



凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件

費用便益分析について

◆路線名：都市計画道路 天王寺大和川線

1. 費用便益分析の基本的な考え方(参考:小規模公園費用対効果分析手法マニュアル)

・費用便益分析は、総費用に対する緑地面積部分における総便益の比率を指標とする。

・費用としては、天王寺大和川線全体整備に要する、用地、工事、維持管理に要する費用を用いている。

・便益としては、「一般的な価値」として次の3項目を合わせたものとしている。

- 実際に施設を利用する、または将来の利用を担保する価値＝「利用」
- 都市景観の向上、都市環境を維持・改善する価値＝「環境」
- 震災等災害時に有効に機能する価値＝「防災」

2. 費用および便益算出の前提

・費用便益分析にあたっては、将来の金額を現在の価値に換算する為割引率を用いる。

- 現在の価値に換算する為の割引率： 4%
- 検討年数 : 50年

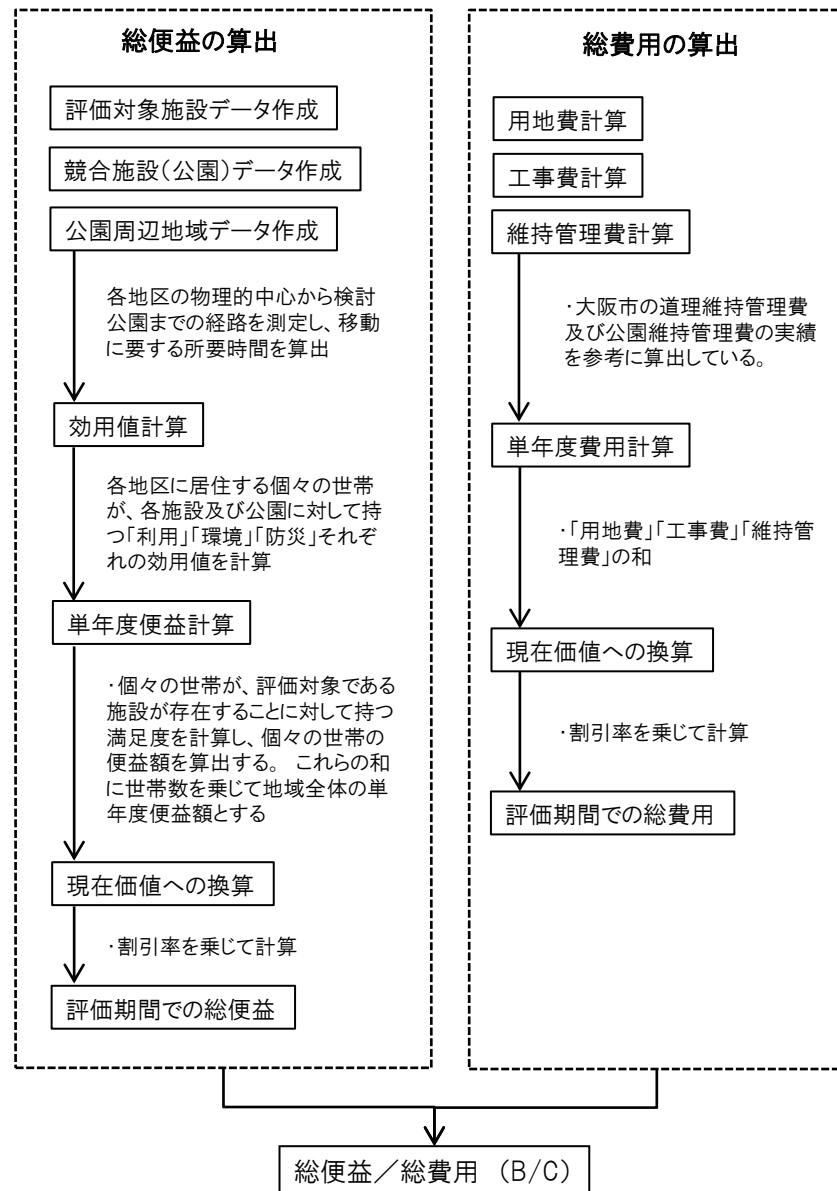
・施設整備によってもたらされる価値の定量的計算方法としては、「プロジェクトの実施により、関係者の持つ望み(効用)の変化から便益を貨幣価値で評価する方法(効用関数法)」による。

3. 費用の算定

- ・天王寺大和川線整備に要する事業費は、「用地費」「工事費」「維持管理費」とする。
- ・維持管理費は供用年次から50年間分を計上している。
- ・大阪市の道路維持管理費及び公園維持管理費の実績を参考に算出している。

4. 便益の算定

- ・効用関数法による小規模公園の価値計測にあたって次の2点を方針としている。
 - 検討対象施設及び公園の整備内容の違いは考慮しない。
価値は整備面積に依存する。
 - 施設の価値は世帯ベースで計測する。
3項目の価値別に、対象施設からの距離に応じた世帯の支払意志額を算出し、これらの各価値の及ぶ範囲内で合計した和を対象施設の価値とする。



天王寺大和川線事業における費用便益分析結果について

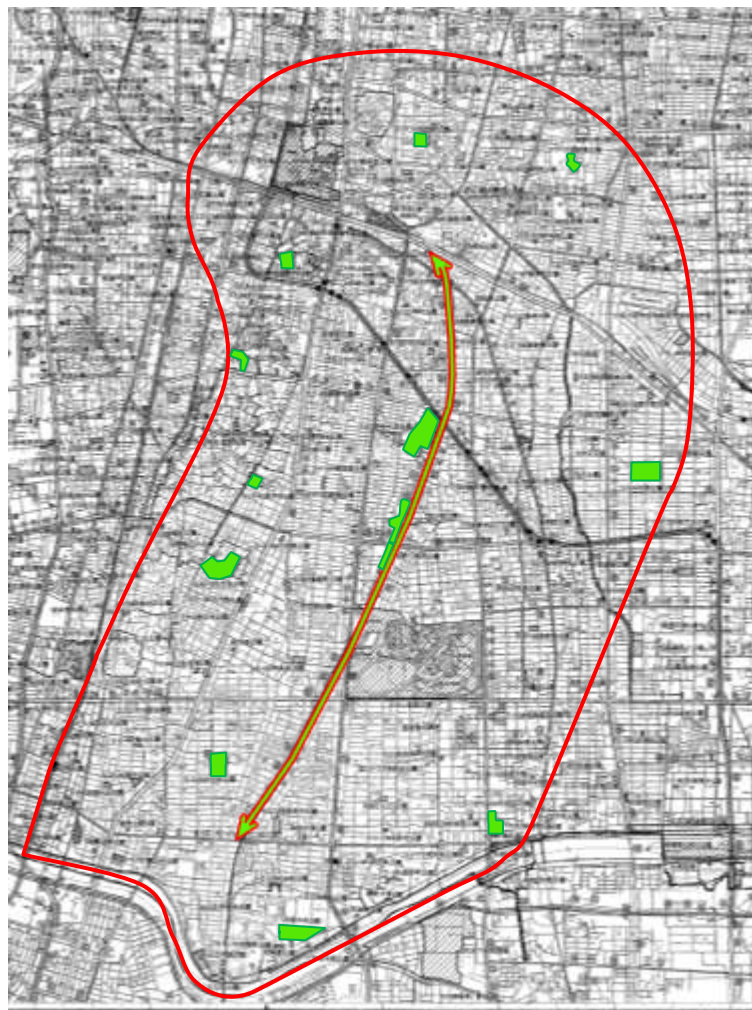


図 評価対象施設、競合公園位置関係

1. 評価対象施設データ

供用開始年度	2018年度
種 別	地 区
面 積 (m2)	89,205
(費用)用地費(百万円)	88,900
(費用)施設費(百万円)	5,300
(費用)合 計(百万円)	94,200
維持管理費(百万円/年)	128

2. 競合公園データ

次の3つの条件を満たす公園を競合公園とする。

- ◆ 現在供用中の公園
- ◆ 近隣または地区公園
- ◆ 対象施設の中心から直線距離で検討対象距離内(誘致距離の3倍)に位置する公園

* 検討対象距離については、天王寺大和川線の形状を考慮し、地区公園での標準値と同等の検討対象範囲となるよう設定した。)

3. 費用便益分析結果

総便益算定

便益合計
363,090

× 割引率

便益の現在価値
123,288

総費用算定

(百万円)

費用合計		
用地費	施設費	維持管理費
88,900	5,300	6,409

× 割引率

費用の現在価値			総費用
用地費	施設費	維持管理費	
86,408	4,413	2,176	92,998

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 123,288 / 92,998 = 1.326$$